



超軽量動力機等の安全な飛行のために

～運輸安全委員会ホームページに特集ページを公開しました！～

超軽量動力機等の事故防止に向けた特集ページ「超軽量動力機等の安全な飛行のために」を運輸安全委員会ホームページに公開しました。

過去の事故調査報告書を分析して、事故の主な要因や安全のためのポイント、事故事例などをご紹介します。皆様の安全のために、ぜひ活用ください。

超軽量動力機等の安全な飛行のために

<https://www.mlit.go.jp/jtsb/guide/microlight.html>



事故はなぜ
起こるの？
事故防止の
ポイントは？



事故の要因や安全
のためのポイント
を確認できる！
過去の事故事例を
参考にできる！

超軽量動力機等では、ほぼ毎年死傷者を伴う事故が発生しています。2022年には、8月から11月にかけて4件の事故が発生し、2名が亡くなり、3名が重傷を負うなど、重大な被害を伴う事故が続きました。

特集ページは事故防止のため、安全講習会の資料など幅広くご活用いただけます。

超軽量動力機の例(左:舵面操縦型 右:体重移動操縦型)

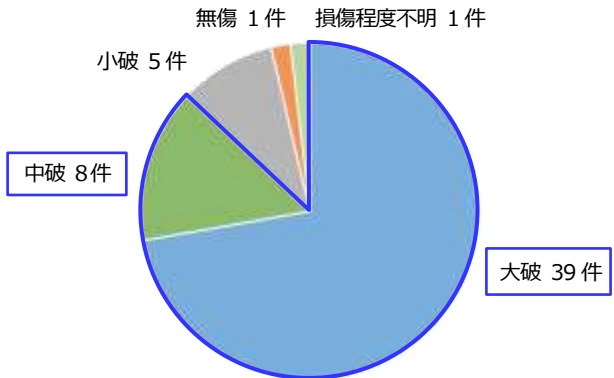
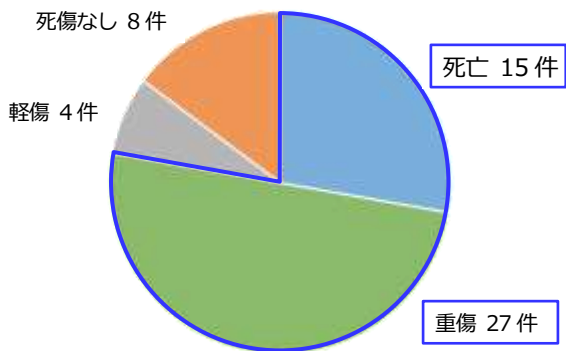


写真提供 日本マイクロライト航空連盟

超軽量動力機等の事故は重大な被害を伴います

死亡/重傷事故が54件中42件（78%）

大破/中破事故が54件中47件（87%）



2001～2021年の間に発生し、調査報告書が公表されている事故54件の統計

○実際のページを一部ご紹介

超軽量動力機等の安全な飛行のために

- はじめに
- 事故と被害の発生状況～重大な被害を伴うことが多くなっています～
 1. 年別の事故発生件数
 2. 月別・曜日別の事故発生件数
 3. 被害の発生状況
- 安全のための留意事項と事例紹介～事故の関与要因の分析～
 4. 事故の種類と原因
 5. 事故の要因
- まとめ～安全サイトで判断して行動しましょう～
- コラム
- おわりに

○はじめに

スカイレジャー（スポーツ）として普及しは二人乗りで、操縦者が着座姿勢で飛行でき、ジャイロプレーンと自作航空機を加えて、

○まとめ～安全サイトで判断して行動しましょう～

超軽量動力機等の事故は重大な被害を伴います

死亡/重傷事故が54件中42件（78%）		大破/中破事故が54件中47件（87%）	
死亡事故	15件（28%）	大破事故	39件（72%）
重傷事故	27件（50%）	中破事故	8件（15%）
その他	12件（22%）	その他	7件（13%）

事故の主な要因は次のとおり

不適切な操縦	40	疲労・認知・認識の不足	6
気象の悪化	19	経高度での飛行	6
知識・技術・経験不足	19	運用限界の逸脱・確認不足	6
機体・部品の不具合	12	飛行特性	3
安全管理の不足	11	不適切な組み立て	2
不適切な機・整備	9	その他	6

**超軽量動力機等も「航空機」です
ルールやマニュアルに従って飛行しましょう**

「やってはいけないこと」を 「やってしまった」 <p style="font-size: small;">過大なピッチ角やバンク角での飛行 高速度となる操縦操作</p>	「やらなければならないこと」を 「やらなかった」 <p style="font-size: small;">適切な操縦・機体のコントロール 気象状況（特に風）の確認・把握</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

運輸安全委員会事務局総務課事故防止分析室

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 四谷タワー15 階

TEL : 03(5367)5026 e-mail : hqt-jtbs_bunseki@gxb.mlit.go.jp